

今年も非常に暑い夏でしたね。一度に大量の水を摂取しすぎてしまうことで引き起こされる水中毒という症状も話題になりましたが、水分補給はこまめに、適度な休養で残暑を乗り越えましょう。今回の『図書館でめぐる郷土～八尾市史編～』のテーマは『常光寺』です。昔から地域の地蔵信仰の場であり、河内音頭発祥の地として知られているほか、大坂夏の陣の痕跡が残る歴史の長いお寺です。

シリーズ  
図書館でめぐる郷土  
～八尾市史編～

## 第三十六回 『常光寺』

ファミリーロードの名前で知られる商店街の中に常光寺というお寺があります。初めは新治西郷新堂寺と称し、行基によって創建されましたが、南北朝の戦乱に焼かれ、西郷住人<sup>ふじわらのもりつぐ</sup>藤原盛継によって復興されました。本尊は総高160cmの木製の地蔵菩薩像で、盛継は地蔵菩薩像と出会ったことで不思議な力を得るようになり、康暦元年(1379年)に八尾での疫病流行を鎮静させる奇跡を見せました。至徳2年(1385年)には河内国守護畠山基国が地蔵に病氣平癒を願い、回復したことで基国がその御礼参りに訪れ、地蔵菩薩の功德が全国的に広がりました。

至徳3年(1386年)に本尊である地蔵菩薩を安置していた小地蔵堂から新本堂の建設が行われ、新堂寺を買得して常光寺の阿弥陀堂としました。また、康応元年(1389年)には室町幕府將軍<sup>あしかがよしみつ</sup>足利義満が参詣し、後に常光寺の扁額を揮毫しました。扁額は現在も残されており、常光寺と当時の中央権力との接点を示すものでもあります。

しかし<sup>えいしやう</sup>永正7年(1510年)8月8日、摂津・河内国を震源とする大地震が発生し常光寺の堂舎が倒壊、寺院経営は大打撃を受けてしまいます。再建のため勸進(寄付を募ること)が行われましたが、寺勢の回復には至りませんでした。その後、亀井にある真観寺の住持であり、京都南禅寺の<sup>たつちゆうこんちいん</sup>塔頭金地院の塔主も兼務していた<sup>せいしやくとくりん</sup>靖叔徳林によって再建され、常光寺は南禅寺金地院の末寺となり臨済宗寺院として生まれ変わるのでした。

元和元年(1615年)5月6日、大坂夏の陣の河内での戦いがありました。戦場は八尾・若江・道明寺を中心に周辺部まで広がり、多くの戦死者が出ました。常光寺は金地院宗伝の抱え寺として保護されましたが、常光寺前では徳川方の<sup>とうどうたかたから</sup>藤堂高虎軍と、豊臣方の<sup>ちゆうそがべもりちか</sup>長宗我部盛親軍との合戦が行われました。激しい戦いに勝利した藤堂高虎は、方丈(住持の居所)の縁側で敵の首実験をしました。その縁板は、現在も血天井として残されています。この戦いでは藤堂方も多くの戦死者を出し、大坂夏の陣の100回忌法要以降、戦死者の慰霊は常光寺で行われるようになりました。常光寺の裏墓地には、戦死した藤堂家の家臣71人の墓である五輪塔群があり、阿弥陀堂には位牌が祀られています。

【右図】常光寺山門  
八尾市観光協会データベースより



### 参考資料

『特別展 大坂の陣と八尾一戦争とその復興―』2013年10月 八尾市立歴史民俗博物館/編  
『大坂夏の陣 400年記念特別展 八尾地蔵常光寺』2015年4月 公益財団法人八尾市文化財調査研究会/編  
『大坂の陣と戦の街道』2023年5月 杉山三記雄/著  
『新版八尾市史 通史編I』2023年5月 市史編集委員会/編 『新版八尾市史 建造物編』2023年5月 市史編集委員会/編  
八尾市観光協会データベース>> <http://www.yaomania.jp/data/index.asp> (2023年8月17日確認)  
常光寺ホームページ>> <https://jyokouji.com/> (2023年8月24日確認)

# 9月のTopics & Information

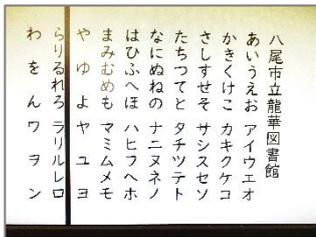


## -Topics

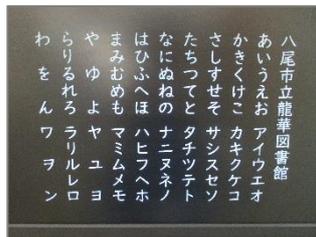
### 拡大読書器を使ってみよう！

龍華図書館に「拡大読書器」という機械があるのを知っていますか？拡大読書器とは、台に乗せた本の文字を画面に大きく映し出して、文字が読みづらい人の読書を助ける機械です。

文字を高倍率に拡大して表示する機能の他に、画面に線を表示させて、今読んでいる行をわかりやすくするラインマーカー機能や、読んでいる箇所のみを表示するマスキング機能などがあります。また、文字を白黒反転させて表示することも可能なので、見やすいモードで読書を楽しむことができます。



【ラインマーカー機能】



【白黒反転】

龍華図書館1階奥の新聞閲覧コーナー近くの座席に設置してあるので、読書に障がいがある方や、最近小さな文字を読むのがつらくなってきたと感じる方は、ぜひ拡大読書器を試してみてください。



## -Information イベントのご案内

### バリアフリー映画上映会

今回は『おらおらでひとりいぐも』を上映します。

(出演：田中裕子、蒼井優、東出昌大、濱田岳、青木崇高 他)

バリアフリー映画上映会は、  
参加者全員が楽しめる  
上映会です！

- ❖ 日本語字幕つき
- ❖ 補聴器の貸出
- ❖ 優先席あり



- 日時…2023年9月24日(日)  
14:00～16:30(上映時間 138分)
- 場所…龍華コミセン 3階 集会室
- 対象…どなたでも
- 定員…55人(申込順)
- 申込…2023年9月3日(日) 9:00～  
龍華図書館カウンター、電話、FAXにて受付。

### パッカーくんがやってくる！



ごみ収集車パッカーくんの紙芝居を読んでもらって、  
ほんもののパッカー車を見学しよう。

- 日時…2023年9月23日(土・祝) 10:30～12:00
- 場所…龍華コミセン 1階 エントランス
- 対象…小学生以下とその保護者(保護者は1人まで)
- 定員…30組(申込順)
- 申込…2023年9月9日(土) 9:00～  
龍華図書館カウンター、電話、FAXにて受付。

## 今月の一冊はコレ！



## 「月まで三キロ」

(資料コード:710638974)

著：伊与原 新 / 出版：新潮社



今年の9月29日は、日本の秋の風物詩のひとつ「十五夜」です。今回は、月をテーマにした物語を紹介します。「この先にね、月に一番近い場所があるんですよ」死に場所を探してタクシーに乗った男を乗せ、運転手は月にまつわる知識を得意げに語りながら「月に一番近い」という場所へとタクシーを走らせます。“地球惑星科学”という学問を専門とする作者が贈る、折れそうな心に科学の世界が交わる瞬間を描いた6編を収録した短編集です。秋の読書のお供にいかがでしょうか。

編集・発行

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45  
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057  
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、  
いいね！してください。

